

盆栽

さくら市盆栽会作品展

令和5年6月2日金 3日土 4日日

午前9時～午後3時30分（入館は午後3時まで）

場 所 | 栃木県指定文化財 瀧澤家住宅 鐵竹堂

観覧料 | 一般100円 ※学生以下無料

駐車場 | 瀧澤家住宅向側（普通自動車12台、軽自動車2台）



高橋 英雄作

会期中のイベント 「盆栽講習会」

講 師：日本盆栽協会
盆栽インストラクター
高橋 英雄氏
開催日時：6月4日（日）
13時から1時間程度
参加費：100円（観覧料として）
※申込不要

栃木県指定文化財 瀧澤家住宅 TEL 028-682-2176

主催：さくら市盆栽会、さくら市ミュージアム-荒井寛方記念館-

BONSAI

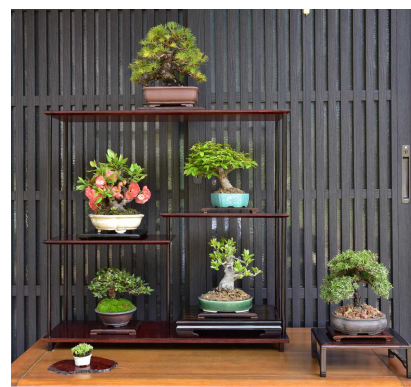
盆栽



高橋 英雄作



岡宮 一二作



岡宮 一二作

盆栽は、日本古来の伝統文化であり、さくら市盆栽会は愛好家の交流を深め、正しい盆栽の姿を後世に引き継ぐ大切な役目を担っています。

盆栽に触れ合う機会が少なくなっている今日ですが、今回は、会員の力作の他、季節に合わせた座敷作りとして盆栽・水石・書画（掛軸）を展示しておりますので、奥深い盆栽の世界をお楽しみください。

盆栽のすばらしさはどこにあるのか、自然の縮図であって、それらしく作る事が大切です。そうした植物を育てることにより、勇気や生きる喜び、力を与えられ、自らの精神や心を浄化することができるようになります。

盆栽を鑑賞するには知識とマナーが必要ですが、今回の展示では気軽に盆上の美しさや、厳しさが表現されている様を感じていただければ幸いです。

日本盆栽協会インストラクター 高橋英雄



高橋 英雄作

■わたしの考える盆栽観 さくら市盆栽会 会長 岡宮一二

「君は、今年何年生」「5年生です」「盆栽に興味があるんだ」「お父さんがやっているから…」

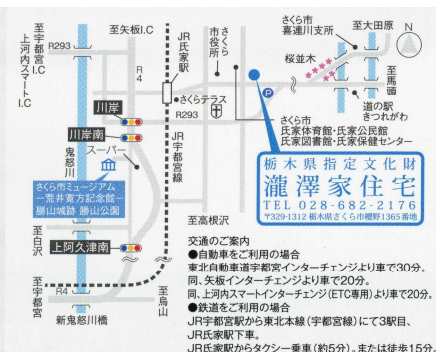
これは、確か40年くらい前、盆栽店で出会った子どもとの会話の一部です。この頃は、盆栽は年を召した人が手掛ける趣味で、若い人たちには敬遠されていました。しかし、この小学生のように隠れた存在も見逃してはなりません。この子も元気なら50歳を超えているのでしょうか。先日私が参加した盆栽技術講習会で、一番前の席に座って熱心に講義を聞いている若い女性がいました。熟年の私たちも負けてはいられません。

さて、「盆栽とは何か」よく聞かれる言葉ですが、わたしは簡単に表現するならば、<自然の美しさそのものを鉢に収めたもの>と考えています。自然界の古木を見て、樹形や枝ぶり（樹格）などを学んで盆栽作りに応用していきます。市販されている盆栽教則本に書かれていることは、ごくごく基礎基本が大前提で、奥深い盆栽の培養過程から言えば、ほんの一部が記されているに過ぎません。長年の経験・見聞が貴重になってくることは誰しもが認めることでしょう。

盆栽は、若木古木を問わず常に葉刈り・芽つみ・剪定・針金掛け、時には重大な改作をも含めて繰り返し繰り返し手入れをします。この作業を怠ると、暴れて手が付けられなくなってしまいます。盆栽の整姿・培養作業は、『子どもの教育』にも参考になることがあると考えています。家庭地域がすくすくと育つように子どもたちを見つめ、時には針金掛けをしなければならぬ時があるかもしれません。盆栽も人間も指導的自由が大切なのです。

瀧澤家住宅 さくら市ミュージアム-荒井寛方記念館-

瀧澤家住宅は、さくら市の櫻野地区の旧奥州街道沿いにあります。通りに面して伝統的な塙を巡らし、堂々たる長屋門を構えるなど、旧家の面影を留め、明治期の重厚な雰囲気や趣を残しています。平成10(1998)年に、建築遺産として歴史的な価値が認められ鐵竹堂(てちくどう)、蔵座敷(くらざしき)、長屋門(ながやもん)の3棟が「瀧澤家住宅」として県指定文化財になりました。これらの建物は明治時代から大正時代にかけて活躍した実業家「瀧澤喜平治」によって建てられました。邸宅は明治25(1892)年陸軍大演習の際には、明治天皇の休息所となるなど旧氏家地区の歴史を語るシンボルになっています。



お問い合わせは

さくら市ミュージアム
-荒井寛方記念館-

栃木県さくら市氏家 1297

TEL 028-682-7123